

# スポーツ経営における 中間支援組織論の展開

2025年2月21日（金） 16:30～18:00

オンライン（zoom）開催

地域スポーツは子どもから高齢者まで誰もがいつでもスポーツに親しむことができる場として重要な役割を果たす。なかでも地域において活動するスポーツ組織及び団体（地域スポーツ協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等）は、住民のスポーツの場や機会を提供するとともに、コミュニティ活性化にも寄与することが期待されている。ただし、地域における人的・物的資源には限りがある。このため、これらの資源を効率的・合理的に利用し、地域のスポーツシステム全体としての最適化や持続可能性を追求していくことが必要である。こうした問題に対して、地域におけるスポーツ組織や団体と行政や地域の諸アクター（スポーツ以外の地域団体など）とを仲介し、支援する組織に関する研究や実践が報告されつつある。たとえばスポーツ領域では、行政や地域、民間の関係をコーディネートする地域スポーツ運営組織（Regional Sport Management Organization;RSMO）や地域スポーツコミッション等と呼ばれる組織的な動きがみられる。

これらの取り組みは、地域に存在する多様な組織、団体や資源を統合あるいは統括する機能を果たす中間支援組織の構想を試みるものであるといえる。一方、中間支援組織に関する実践はNPO研究領域においても展開がみられる。そこで、今回の研究報告会は、NPO領域における中間支援組織の概念と実態等に詳しい櫻井常矢氏（著書：『地域コミュニティ支援が拓く協働型社会:地方から発信する中間支援の新展開』学芸出版社、2024年）をお招きし、日本の中間支援組織について、(1)現状と課題、(2)黎明期から現在までの全国的動向、(3)新たな中間支援機能とその社会的意味、などの視点から、ご報告いただく。これらの理解を通じて地域社会における多様なアクターの連携や、各アクターへの支援の内容、地域スポーツ経営への応用可能性について理解を深める。

講師

櫻井常矢氏（高崎経済大学）

研究分野：社会教育学、地域づくり、NPOの教育力

略歴

2001年 東北大学大学院教育学研究科後期博士課程  
修了

2013年 高崎経済大学地域政策学部 教授

2021年 高崎経済大学大学院 地域政策研究科長

参加費無料



<https://forms.gle/G4HE6faiqwoWaE9c8>

問い合わせ

担当：横山剛士（金沢大学）

E-mail：jamps.office@gmail.com

お申込みはQRコードまたはURLより  
期限：2025年2月19日（水）まで